

卒業式の思い出

昨日は名市大の卒業式であり、1年前までのことが思い出される。教師になってから卒業式には必ず出席している。卒業式は白鳥の名古屋国際会議場（センチュリーホール）で行うことが多い。大学評議員・学部長の頃は壇上に座り、その他のときは奥の方でひっそり座っていた。

2006年3月26日レポートに書いているが、この時の会場は鶴舞の名古屋市公会堂であった。レトロ調で歴史と風格を感じさせ、卒業式にふさわしい。学部長2年目であり、私にとっても最後の公的な挨拶の場であり、いまでも記憶に残っている。じつは卒業式を前にして、学生に悲しい「出来事」があった。挨拶では「生きること」の大切さを話した。卒業証書は学生の妹さんに手渡した。何回かの卒業式でも、この時のことは忘れられない。

卒業式当日には、かなり前から下記のような「卒業おめでとう」と卒論報告会などの写真をゼミ生に手渡してきた。下記に昨年の「ことば」を載せてある。

(2015年3月26日)

卒業おめでとう

こうしてゼミ生を送り出すのは、嬉しさとともに一抹の「寂しさ」を感じています。ゼミや卒論、卒論審査報告会、「飲み会」が思い起こされます。當り屋さんで早々と心温まる贈り物をいただき嬉しかったです。さっそく愛用しています。くまモンは講義などで紹介しました。

ゼミの卒業生もこれで87名になります。卒論テーマにより、卒業生の顔が浮かんできます。やはり多くの良きゼミ生に恵まれてきたことは、35年の教師生活でも大きな喜びです。私も皆さんと一緒に卒業します。皆さんは私にとって「最後のゼミ生」であり、いつまでも記憶に残ると思います。卒論などでの心配もありましたので、よけいに？

4月から辛いことも多いと思いますが、ゼミや卒論、就活の「苦しさ」などを思い出し、前向きに突き進んでいってほしいです。また会える日を楽しみにしています。

とにかくお元気で。もう一度、卒業おめでとう。

2014年3月25日

